

5-1みんなで協力して 積み上げよう 5の1アイスクリーム
「楽しい」「目と耳と心で聴く・反応」「発表」「チャレンジ」【切り替え】

〈授業像に込められた願い・・・〉

第1回話し合い

まずは、学校とはどんなところか話し合い、学ぶところだということを押さえた上で、授業像を話し合った。

議題「授業像を考えよう」

小柱1「どんな授業にしたいか」で、児童は自分たちの授業に対する思いを深めた。

- ・楽しい ・自分の意見を言う ・話を聴く ・皆で協力する ・力がつく
- ・次の授業が楽しみになる ・飽きない

これらの意見が出たため、どうすればそのような授業ができるか話し合ったところ、

- ・切り替えが大事。 ・授業内容が分かると楽しい。 ・覚えられると楽しい。
- ・力がつくと、次の授業が楽しくなる。 ・授業内容が分かると、飽きない。
- ・話し合うと意見を言うことができる。 ・意見を言うと、盛り上がって楽しくなる。
- ・話を聴いてもらえると、手を挙げるのが楽しくなる。 などの意見が出た。

「1つの要素には決められない。どの要素も関わり合っていて、自分たちが目指す授業ができるのではないか。」となった。

第2回話し合い

議題「授業像を考えよう」

小柱1「どんな授業にしたいか」の続きを行い、どれも密接に関わり合っているのだが、自分が特に大事だと思うことについて話し合った。

小柱2「授業像に入りたい言葉は何か」で、自分がこれは絶対大事だと思う言葉を選び、話し合った。

第3回話し合い

議題「授業像を考えよう」

小柱3「どんな合言葉がいいか」

話し合いをしていくうちに、以下の5つの合言葉に絞られた。

- ・みんなで協力して ドミノを倒そう ・みんなで積み上げよう アイスクリーム
- ・お ぼえられる 「チャレンジ」「相談」「発表」「楽しい」
- つ ぎのじゅぎょうにつながる ・みんなで 大きな木を 育てよう
- き りかえ 「切り替え」「話し合い」「発表」「反応」
- み んなで ・ハンバーガーを作ろう
- 「楽しい」「切り替え」「目と耳と心で聴く」

どれも、第1回第2回の話し合いで出た「楽しく、分かる、力が付く授業にするために必要な要素」が「関わり合っている」ものである。さらに話し合いの結果、このようにまとまった。「切り替え」という土台（コーン）があることが前提で、難しいと思ったことでもまず「チャレンジ」をし、「発表」をして皆に考えを伝える。その「発表」に対し、「目と耳と心で聴いたり反応をしたり」することを積み上げていくことで、「楽しい（分かる）」授業になる。

児童の思いを活かすことができるような授業をするよう、心がけたい。